

マラツカ「ル」グチナ「道」道標22方向ニ前
 進シ三日タ迄ニ170四日タ迄ニ310五日タ迄ニ敵
 道線路附近ノ敵ヲ掃蕩シツ、進出シ六日早
 朝迄ニ²⁶³方向ニ向ハ前進ヲ準備スベシ
 機関銃中隊²⁶³（²⁶³之々²⁶³）²⁶³ハ大隊本部ノ後方
 ヲ先ヅ「カリンボンケン」ニ向ヒ前進シ爾後
 本道西側地区ヲ三日タ迄ニ415四日タ迄ニ「カンホ
 ポンネラサン」五日タ迄ニ「カンホンカウ」ニ敵
 ヲ求めて掃蕩シツ、前進シ六日早朝9時2分ニ向
 ヲ前進ヲ準備スベシ

0852

土人(若カニナ人)巡查ニ五人及通譯一ヲ協力セ
シム

々第四中隊(機關銃一分隊)屬スハ三日正午行
動ヲ開始シ同日夕迄ニカンボンケンドン附
近ノ敵ヲ掃蕩シ五日夕迄ニ¹⁷¹⁰鐵道標309ノ
線ニ進出シ六日早朝迄ニ²⁸⁹⁹ニ向テ前進ヲ
準備スベシ

但シ一小隊ハカンボンケンドン附近ノ敵
ヲ掃蕩後大隊予備隊トス

0853

土人(苦力十五人)巡查ニ五人及通譯一ヲ投
カセシム

四爾奈ノ諸隊ハ予備隊トナリ大隊本部
後方ヲ續行スバシ(大隊砲小队ニ苦力五
名ヲ投カセシム

五各隊ハ六日早朝本道ノ線ヨリ行動ヲ開始
シ各々所命ノ山頂ニ敵ヲ掃蕩シ第二大隊
主力及第六中隊第七中隊ト連絡シタル後
「カンホンケンドー」―「カンホンバギトタンバン」

間、要点ニ位置シ爾後敵ノ動靜ヲ偵察スル
ト共ニ後命ヲ待ツベシ

六、大隊本部ハ三日夕道標、四日夕道標、五日
夕道標、22附近ニ位置ス

七、各隊ハ大隊本部ト密ニ連絡スベシ(第一中
隊ト第二中隊ヤウトハ六號無線ニ依リ其他
ハ道路網ニ依リ連絡スベシ)

ハ協力部隊トシテ

マラッカ憲兵隊

憲兵

一

0855

マラッカ星政部

通譯

警察署

土人 四〇
逃査 五〇

九合言葉「天祿神助」トス
予ハ部隊本部ニ在リ明三日後大隊本部ニ在
リテ行動ス

第一大隊長

大本少佐

下達法各隊小隊長以上ニハ因上ニ於テ行動概
要ヲ教示シタル後印刷交付一

0856

注意

一、鐵道線路及道路ノ兩側五百米以外ノ支那人
及英國人ハ老若男女ヲ問ハズ徹底的ニ掃
蕩ス

二、土人ノ武器ハ全部沒收ス

三、作戰行動後ノ包圍圈内ニ土人ノ出入ヲ嚴禁ス
バシ

四、各隊ハ最大潑サズ道路網ニ添ヘ約十名ノ一隊
トナシ徹底ニ掃蕩スバシ

五、逮捕セルモノ中兩後參考ト認ムルモノハ速ニ大隊

0857

本部ニ連行スベシ

大山地ニ在ル家屋等極力搜索シ隠匿兵器等ヲ
搜索ニ努メ敵側ニ利用セラレアルト認ムル

(土人現居住シアルモハ除ク)ハ焼却スベシ

七 特ニ軍紀風紀ヲ嚴ナラシメ掠奪強姦等絶無
ヲ期スベシ

0858

大作命 第四八號

第一大隊命令

三月六日一七四五
電標ニ四

一、大隊ハ本道上ノ要矣ニ位置レ肅正後ニ於ケル
敵性分子ノ動靜ヲ偵察セムトス

二、各隊ハ隊メ指令セル地矣ニ兵力ヲ派遣シ敵性分
子ノ動靜ヲ偵察スハシ

三、其他ノ部隊ハ依然現在地ニ位置スベシ

四、各隊ハ明日「カンボニケエ」カウ（圖）ニ電標ニ三
ニ於テ吉川主計中尉ヨリ糧秣四日分ヲ受領

スベシ

五、予ハ依然現在地ニ在リ

第一大隊長

大本少佐

下達法各隊命令受領者ヲ集メ以達後印刷
交付

0860

大作命 第二四九號

第一大隊命令

三、七、一九、一五
曜條ニ

一、鐵道沿線ノ敵性分子ハ本掃蕩ニ依リ一掃セ

ラレタリ

二、大隊(第三中隊第四中隊々)ハ明日早朝見

在地出発「マラツカ」ニ歸還セムトス

三、第四中隊(機關銃一小隊屬込)ハ速ニ「タムピ」

ニ歸還シ別隊ハ「南隊」命令ニ基キ次期討

伐ヲ準備スベシ

0861

配属中ノ衛生隊ハ速ニ原所屬ニ復歸セシム
ベシ

四尔余ノ諸隊ハ明ハ日六時迄ニ現大隊本部位
置ヲ先頭トシ健制順序ニ集合シ金子申尉
ノ指揮ヲ以テ「マラツカ」ニ歸還スベシ

五予ハ本七日ニ時「マラツカ」ニ先行ス

第一大隊長 大本少佐

下達後各隊命令受領者ヲ集メ口達

後印刷交付

0862

大伴命第一五〇號

第一大隊命令

二月十五日
マラツカ

一、マラツカ東北方約四〇軒「アサハン」北方山地
及其ノ西北方山地附近ニハ兵器ヲ有スル共
産匪在ルモノ、如シ

併隊ハ昨十日以來「ムヒ」北方山地一帯ノ
共産匪ヲ掃蕩中ナリ

二、大隊「アサハン」八日十二日ハ時「マラツカ」出發
先ヅ「アサハン」附近ノ敵ヲ掃蕩シタル後其ノ

0863

西北方「アヘル」に「カンボンチンカワ」附近ノ
敵ヲ掃蕩シ抗日分子ヲ芟除セムトス
軍政部支部(警察隊)及憲兵隊ハ本掃蕩ニ埃
カス

三、第一中隊ハ尖兵中隊トナリ明十二日七時五
十分迄ニ大隊本部東南側ニ又路東方六〇〇
米ヲ先頭ニ集合シ「マラツカ」——「ジヤシン」
——「アサハ」ニ道ヲ本隊ノ前方五〇〇米ニ在
リテ「アサハ」ニ向ヒ前進スベシ

0864

四、爾餘ノ諸隊ハ明十二日七時五十分迄ニ大隊
本部東南側丁字路ヲ先頭トシ左記行軍序列
ニ集合シタル後尖兵中隊ノ後方五〇〇米ヲ

「アサハン」ニ向ヒ前進スベシ

○ 2 左

MG(中)

記

BIA

S

□
(2)

五、服装ハ輕装ニシテ自轉車編成トシ携帶口糧
甲三日分及明十二日昼食ヲ携行スベシ

六、予ハ明十二日七時五十分大隊本部東南側ニ又

0865

路ニ在リ

爾後本隊ノ先頭ニ在リテ前進ス

小川大尉ハ予ノ不在間殘留部隊ヲ指揮ス

シ

第一大隊長 太本少佐

下達法 各隊長ヲ集メ要旨ヲ達後印刷交付

ス

0866

大作命第一五一號

第一大隊命令

三月十三日十四時五分
アサハシ北方

- 一 アサハシ北方山地附近共產匪ノ状況大作命第一五〇號ノ如ク其ノ後新報ヲ得ズ
- 二 大隊ハ該共產匪ヲ捕捉殲滅セハトス
- 三 第一中隊長ハ大隊砲小队及衛生隊ノ一部ヲ伴セ指揮シA掃蕩隊トナリアサハシ北方約十五軒木材倉庫其ノ北方山地附近ノ共產匪ヲ東方ヨリ掃蕩スベシ
- 四 機関銃中隊長ハ第二中隊及衛生隊ノ一部ヲ伴セ指揮シB掃蕩隊トナリA掃蕩隊ト連繫ス
- 五 西南方ヨリ掃蕩スベシ
- 五 兩掃蕩隊ハ敵逃セシ止得サル場合ハ外射要

0867

ヲ禁シ友軍相害ニ注意スベシ
六掃落終了セバ速ニ現在地ニ搬送スベシ
又予ハ木材会社東側ニ在リ
第一大隊長 大本少佐
下達法 各隊長ヲ集メ口達後印刷交付

0868

大作命第一五二號

第一大隊命令

ア、サハハ、北の方

一、アサハハ、北方山地附近ニ在リ、共産匪ハ

一部逃セセルモ、其ノ大部ハ捕提、殲滅セシメヨ

二、大隊ハアサハハニ、販運同地ニ宿営シ、爾後ノ行

動ヲ準備スルト共ニ、掃蕩後ニ於ケル敵性分子

ノ動靜ヲ偵察セムトス

三、各掃蕩隊ハアサハハニ、返轉シ、爾後ノ行動ヲ準

備スベシ

四、予ハ命令受領者ヲ伴ヒ、アサハハニ、先行ス

第一大隊長

大本少佐

下達法

各隊命令受領者ニ、要旨ヲ達後印

別交付

大作命第一五三號

第一大隊命令

アサハニ北端

一大隊ハ本夜アサハニ北端ニ村落露営セムトス
ニ各隊ハ設営者ノ指示ニ依リ夫々村落露営スベシ
三營武ハ各隊毎ニ直接營武兵ヲ以テ寄附施スベシ
四勤務員ヲ左記ノ通り服務セシムベシ

左記

露営日直將校

金子中尉

巡察將校

金子中尉 (前半夜)
上野少尉 (後半夜)

部隊衛兵

(長以下五名) 第一中隊

五公用外々出ヲ禁ミ土民ノ家屋ニ出入ルヲ嚴禁ス
六給養ハ携帶口糧甲ニ依リ明晝入食迄ヲ炊爨ス
マベシ

大予ハ本道南側ニ位置ス

第一大隊長

大木少佐

下達法

各隊命令受領者可集メ口達後
印刷交付

0871

大作命第一五五號

第一大隊命令

ア、一、ハ、ハ、ン。

一、大隊ハ引續キ「アヘル」ニ及「カンボウ」ニカ、附近

ヲ掃蕩セムトス

ニ、A掃蕩隊ハ先ヅ「アキ」トケレテ「エス」ト附近ヲ

掃蕩シタル後引續キ「アヘル」ニ及「カンボウ」ニカ、附近ヲ

掃蕩スベシ

予ハA掃蕩隊ト行動ス

第一大隊長

大本少佐

下達

A、B掃蕩隊長ニ要旨ハ達後

印刷交付

0872

大命第一五五號

第一大隊命令

三、一五〇〇
アヘルクニ

一、A. 乃兩掃蕩隊ハ現在地附近ノ掃蕩ヲ
終了セバ成ル可ク速ニ駐留地ニ向ヒ飯還スベシ
マラッカ飯還ト同時ニ其編組ヲ解ク
ニ予ハ十三日「マラッカ」ニ飯還ス

第一大隊長 大本少佐

下達法 各隊命令受領者ニ要旨口達後
印刷交付

0873

大作命第一五六號

南地ニ駐ル備隊命令

三、ニ五、一、八、〇、
マ、ラ、ツ、カ、

一諸情報ヲ綜合スルニマ、ラ、ツ、カ、
市街ニ入駐ル備隊到着以前ヨリ相當數ノ敵性分
子ヲ在マ、ラ、ツ、カ、ノ最近駐ル備隊ノ數度ニ亘ル
敵性分子ノ摘發ニ依リ却ツテ駐ル備隊ノ位
置スルマ、ラ、ツ、カ、ノ兩市ヲ侵シトナシ奧地ニ在
リシ敵性分子ニ侵入セルモノ、如シ
南地ニ駐ル備隊ハ二十五日七時三十分ヲ期シ一齊ニマ、ラ、ツ、カ、
及「マ、ラ、ツ、カ」ノ潜在敵性分子並ニ共產黨員ノ徹底的
摘發ニ依リテ企圖ス

二南地ニ駐ル備隊ハ二十五日七時三十分ヲ期シ一齊ニマ、ラ、ツ、カ、
カ市街及其近郊部落ニ潛入スル敵性分子並ニ共
産黨員ヲ徹底的ニ摘發ニ依リテ企圖ス

0874

本掃蕩間第三中隊ヲ復讐セシメラル

三第三中隊及列ハシニ整満隊ハ豫メ準備ノシメ二十日

二十時迄ニ列ハシニ到着スベシ

同時指帶ハ終日三日分ヲ携行スベシ

掃蕩隊ノ編組別紙如シ

又各掃蕩隊ノ掃蕩担任区域別紙要圖ノ如シ

又各掃蕩隊ノ担任区域ニ在ル敵性分子並ニ共ニ在堂

員ノ徹底的ニ摘発スル如クニ五日ノ時迄ニ諸準備

備ハ完了スルニ至リ七時三十分一齊ニ行動ヲ発起シ一齊搜索

(徹底的搜索)ヲ實施スベシ

又搜索實施ニ當リテ各掃蕩隊及軍政部並ニ各掃蕩隊之ニ於

テカ

七、檢索實施ハ別冊檢索計畫ニ據ルベ
八、各隊ハ秘密保持ニ細心ノ注意ヲ拂フベシ
九、予ハ警備隊本部ニ在リ

南地區警備隊長 大本少佐

下達法 各隊長ヲ集メ要旨ヲ達後印刷
交付

0876

大作命第一五六號別冊

「マラッカ」市街及其近郊部落搜索計畫

南地区警備隊

0877

一、方針

「セレンベシ市街及其近郊部落ノ搜索ニ相呼應シ
同市ノ搜索ト同日時ニ行ヒ搜索ハ盛ニ備隊政廳
憲兵隊兵站等所有皇國機關渾然一體トナリ將
來ニ禍根ニ與ササル如ク徹底的ニ行フ

ニ準備並秘密保持

一、配置ニ就ク直前部下ノ軍紀風紀ノ緊縮ニ関ス
ル注意ヲ與フ

二、配置ニ就ク進路地点ヲ誤ラサル如ク要スル命令
地形ヲ偵察ス

三、秘密ノ保持ニ就テハ特に細心ノ注意ヲ拂フ

三、搜索搜索實施要領

一、各掃蕩隊ハ別命ナクニ十五日七時三十分ヲ期シ一

解搜索ヲ開始スルモノトス

服被ハ輕装ニシテ昼食ヲ携行スルモノトス

但シ彈藥ハ三十發トシ機關銃大隊砲ハ携行セズ

之家宅搜索ハ民族ノ如何ヲ問ハズ又安居證ヲ所

持セト否トニ拘ハラズ行々搜索ハ老若男女ヲ問ハ

ズ又治安維持會員或ハ皇國各機關ニ於テ使用

中ノ者ト雖モ容赦セサルモノトス

了搜索實施ニ方リテハ敵性分子共產黨員ヲ徹

底的ニ摘發シ且ツ兵器(銃砲刀槍彈藥燃料)

油類通信器材信號彈等)搜捕將抗自並共產

黨ニ關スル證據物件鉄道破壞用具(火药板

等)毒物或ハ細菌謀略ニ使用シ得ル物

0879

暗號書等、留電線切斷用具、青天白日旗、蔣介
石、高直等ヲ押収スルヲシ

敵性客疑者トシテ、別ニ定標準左ノ如シ

一、搜索或ハ搜索ニ際シ反抗シ又ハ態度不遜者
二、第三項記述ノ物件ヲ所持スルモノ（家宅内ニ置キ
アルモノヲ含ム）

ハ搜索間逃走ヲ企ツルモノ及家宅搜索済家屋

ニ未済家屋、居住者等ニシテ入リタル者

ニ敵性分子共産黨員ノ疑ヒアル者

ホ旅館宿泊人

ハ教員

ト、相次社ノメンバーヲ所持スル者

又、其他特ニ疑ヒキ者

5. 敵性並に暴行を爲す者ハ直ニ之ヲ逮捕シ現地ニ於テ之レヲ拷問スルコトナク監視者ヲ附シ尤記位道ニ連行シ拷問終了後刑務所ニ護送(別命)スルモノトス

九 記

A 掃蕩隊

警備隊本部前

B 掃蕩隊

第三分哨

C 掃蕩隊

第四分哨

D 掃蕩隊

第五分哨

6. 押収兵器其、他ハ各掃蕩隊毎ニ適宜ノ位置ニ集積シ搜索終了後品目員数表ト共ニ報告
 南隊本部ニ提出スルモノトス

0881

但、爆発物等危険ナルモノ、或ハ通信器材等
 特殊技術ヲ要スルモノハ速ニ空軍部隊本部ニ
 報告スベシ
 7 搜索終了家屋ハ之ヲ標示シ重複ヲ避ケル
 共ニ時ニ隣接部隊ト連絡シテニ保持ニ授
 索間士民ノ逃避ヲ防止スル共ニ市内交通
 ヲ禁ミ遮リニ其ノ位置ヲ移動セシメザル如ク當
 心ス
 8 搜索要員施ニ當リ特ニ左記事項ヲ遵守スベシ
 ①軍紀風紀ノ緊縮ニ就テハ特ニ事前ノ注意ヲ
 遺漏ナカラシメ各級幹部ハ路傍其ノ要員行ヲ
 監視シ以テ軍紀風紀ノ厳正ヲ期スベシ
 ②家屋搜索ニ當リテハ先ヅ屋外ニ監視者ヲ配置

0882

シ不慮ノ危害ヲ防ニ注意スルト共ニ家屋同
時四名以上ヲ以テ寄身施シ特ニ其ノ長ハ敬選ス
ベシ。

ハ、搜索終了後ハ各掃蕩隊長ニ於テ成ル可ク
速ニ全員ニ對シ所持品検査ヲ寄身施スベシ
四、報告

ハ、各掃蕩隊ハ搜索終了後速ニ搜索人員及所
持品検査ノ結果ヲ報告スベシ

五、接問及處断ニ関シテハ別令ヲ

六、留置者ノ標識カノ如シ

ハ、宿泊ス

2. 逃亡(企圖)スルモノヲ查シ者

了兵器其ノ他搜索計畫了了項ニ依ル物件ヲ
所持シタル者

赤 青 白

七、搜索資施、別冊搜索計畫ニ據ルバシ
八、各隊ハ秘密保持ニ細心ノ注意ヲ拂フバシ
九、予ハ各備隊本部ニ在リ
南地区駐る備隊長 大本少佐
下達法 各隊長ヲ集メ予ノ旨ヲ達後印刷交付

0884

大作命令第一五六號
掃蕩隊編組
D 掃蕩隊長

小川大尉
第二中隊
大隊砲小队
衛生隊
警察隊一三名

0885

補助憲兵々々差出区分表		差出場所	マラッカ	分隊所	ケマ分隊所
差出部隊	第一中隊	第二中隊	機関銃中隊	大隊砲小隊	第四中隊
兵力	各兵三	各兵二	兵五		
備考	入員公家ニ服務シテ ル者ヲ可トス 二明日九時ニ分進ニテ 前ニ集合シ先任者ヲ 卒テ以テ到ルベシ 交通便ニ依リ到ルベシ				

0887